

## 商工建設委員会会議記録

商工建設委員会委員長 白澤 勉

- 1 日時  
令和7年8月5日（火曜日）  
午前10時0分開会、午後1時13分散会  
（うち休憩 午後0時0分～午後1時1分）
- 2 場所  
第4委員会室
- 3 出席委員  
白澤勉委員長、工藤剛副委員長、五日市王委員、郷右近浩委員、軽石義則委員、  
神崎浩之委員、高橋穩至委員、中平均委員、田中辰也委員
- 4 欠席委員  
なし
- 5 事務局職員  
高橋担当書記、古澤担当書記、工藤併任書記、佐々木併任書記、佐藤併任書記、  
金併任書記
- 6 説明のため出席した者  
県土整備部  
上澤県土整備部長、岩崎技監兼河川港湾担当技監、加藤副部長兼県土整備企画室長、  
小野寺道路担当技監、小野寺まちづくり担当技監、伊藤港湾空港課総括課長
- 7 一般傍聴者  
なし
- 8 会議に付した事件  
継続調査（県土整備部関係）  
「北上川上流ダム再生事業及び四十四田ダムの堆砂対策について」
- 9 議事の内容

○白澤勉委員長 ただいまから商工建設委員会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。本日は、お手元に配付いたしております日程のとおり、北上川上流ダム再生事業及び四十四田ダムの堆砂対策について、現地に出向いて調査を行います。

なお、本日は閉会中の委員会であり、さきの6月定例会において、閉会中の継続調査事件として議決されているものに執行部の出席を求める案件がないため、執行部に対する出席要求は行っておりませんが、県土整備部から久慈港長期構想の策定について発言を求められております。このため、現地調査終了後、議事堂に戻った時点で昼食休憩とし、その

後、午後1時から県土整備部の関係職員を入室させた上で、委員会を再開し、発言を許したいと思いますので、あらかじめ御了承願います。

それでは、バスで移動いたしますので、玄関前まで御移動願います。

〔北上川上流ダム再生事業及び四十四田ダムの堆砂対策について〕現地調査を実施〕

〔現地調査後、休憩〕

〔再開〕

○**白澤勉委員長** 休憩前に引き続き、会議を開きます。

この際、県土整備部から久慈港長期構想の策定について発言を求められておりますので、これを許します。

○**伊藤港湾空港課総括課長** 資料の説明に先立ち、これまでの経緯を御説明します。

本年3月19日に商工建設委員会において久慈港長期構想素案を説明させていただいた後、パブリックコメントの実施及び第3回長期構想検討委員会での検討を経て、このたび策定に至ったものであります。

まず、パブリックコメントについてですが、本年3月28日から1カ月間実施し、3名の方から5件の意見をいただきましたが、再生可能エネルギー導入や洋上風力発電産業創出への期待などの内容であったことから、パブリックコメントによる長期構想の修正はございません。

また、6月11日に開催した第3回長期構想検討委員会では、主に長期構想策定後の取り組み推進や港湾計画改訂に係る意見をいただいておりますが、長期構想の変更を要する内容ではなかったことから、前回御説明させていただいた長期構想素案の内容から大幅な変更はございません。

それでは、お配りしております資料のうち、久慈港長期構想概要版で説明させていただきます。概要版の1ページをごらん願います。久慈港長期構想については、中段に示しておりますが、基本目標を暮らし・エネルギー・地域産業を守り育む県北の拠点港久慈港とし、その下に示しております戦略を物流・産業、環境、賑わい・交流、安全・安心の四つの分野に分け、それぞれの戦略における主要な取り組みとして、右側に示しております14の取り組みを掲げております。

2ページ以降には、14の取組の具体的な内容等について記載しておりますが、前回説明させていただいた素案段階のものから若干の文言、図の修正を行ったのみで、ほぼ同様の内容となっておりますことから、詳細の説明については割愛させていただきます。

以上で久慈港長期構想の策定についての説明を終わります。

○**白澤勉委員長** ただいまの報告に対し、質疑はありませんか。

○**中平均委員** 今回長期構想ができたということで、次は港湾計画の改訂になると思いますが、具体的なスケジュールリングをお伺いします。

○**伊藤港湾空港課総括課長** 港湾計画の改訂についてでございます。今回の長期構想の

うち、当面对応すべき項目について港湾計画に盛り込むための作業に入っていきますが、改めて港湾取り扱い貨物量の正確な積み上げを行うこととなりますので、今回の長期構想策定段階で把握した貨物需要についてより詳しい聞き取りなどを行い、それに基づいて必要な施設の規模、位置等を検討してまいりたいと考えております。

また、今回久慈港は、風力発電事業に対応した長期構想としております。現在想定されているのは浮体式洋上風力発電ですが、こちらは国が現在あり方検討会を設置して仕様の検討を進めておりますので、この検討状況を注視しながら、浮体式洋上風力発電に対応した物流拠点の港湾スペックを定め、今後の計画に反映してまいりたいと考えております。

○中平均委員 先般、商工建設委員会で視察した青森港では、去年長期構想を策定しており、当然規模は違いますが、港湾計画の改訂はどれくらいで終わるか伺ったところ、今年度手をつけて何とか終わらせたいが、恐らくそれ以上かかるだろうとのことでした。久慈港の場合、先ほどお話のあった浮体式洋上風力発電の主要スペックがこれから出されるわけですが、あわせて港湾計画の改訂を進めるとなると、国土交通省とのやり取りもあれば、最低でも1年はかかるだろうということになってきます。もう少しスピード感を持ってやれないものかと思うのですが、そこら辺をどう捉えているのでしょうか。

○伊藤港湾空港課総括課長 青森港でも昨年度末に長期構想が策定され、1年程度での港湾計画改訂を目指すということは聞いております。青森港では、洋上風力発電事業のための基地港湾は既に事業中で、このための港湾計画は、改訂ではなく一部変更の手続きを令和5年に実施されております。今後は、長期構想に掲げる施策のうち、大型クルーズ船への対応機能強化やフェリー岸壁の耐震化など、既存施設の機能強化に関する計画変更について改訂すると聞いております。

一方、久慈港は、浮体式洋上風力発電事業への対応に加え、計画取り扱い貨物量の見直し、それに伴う規模の再検討、背後圏へのアクセスとの連携を踏まえた耐震強化岸壁の位置や規模の検討など、多岐にわたる課題への対応を想定していること、また、岸壁埠頭用地の新設も含めて港湾計画全体を大きく見直す必要があることから、青森港が予定している改訂に比べ、余計に期間を要するものと考えております。

また、現在国が検討を進めている浮体式洋上風力発電の主要スペック等については、令和8年度に示される見込みとのスケジュールが示されているところです。

○中平均委員 港湾計画の改訂が多岐にわたるということであれば、だからこそ、今から必要な貨物や岸壁について調査しておき、今後、浮体式洋上風力発電に対応する港湾の主要スペックが示されたときにあわせて動けるようにすることも必要ではないかと思えます。

また、少し脱線した話にはなりますが、例えばこの間の盛土規制法——宅地造成及び特定盛土等規制法の改正で、県土整備部発注の事業でも土捨場を探せず、各広域振興局を含め、皆さん大変御苦勞されていると聞いております。この港湾計画の中で、例えば埠頭の埋立てや、旧計画で耐震や深さがもう決まっている部分を同時に進めることができれば、

別の公共事業で出た土砂等をそこに搬入できるとか、そういう連携したやり方が可能になってくるのではないのでしょうか。

長期ビジョンをつくって終わりということでは当然ないと思いますが、そういった面をトータルで見ていきながら、県北地域振興の核となる港湾計画の改訂に向けて、久慈市や関係各課と調整しながらスケジュールを組んでいく必要があると思います。調べなければならないものがたくさんあるのは分かりますし、いろいろなことをやらなければならないというのは今の説明で分かりましたが、だからこそ、どういうスケジューリングで進めていくかだと思います。そういう点を詰めていって、また御連絡いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○白澤勉委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○白澤勉委員長 ほかになければ、これをもって本日の調査を終了いたします。お疲れさまでした。

なお、9月2日に予定しております閉会中の委員会についてであります。さきの委員会において決定いたしておりましたとおり、多業種交流によるイノベーション創出及びキャリアサポート等の取り組みについて調査することといたしておりますので、よろしくお願いたします。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。本日はこれをもって散会いたします。